

この欄は記入
不要です。

整理番号	
受付年月日	

令和6年度手話を通じたささえあい活動への助成事業応募書（記入例）

1 応募者の概要（記入例）

団体名は、省略せずに
記入してください。

団 体 名	特定非営利活動法人 ○○		
団 体 所 在 地	〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下 692-2		
連 絡 先	事務担当者 氏 名	長野 太郎	
	事務担当者 電話番号等	電話 026-235-7104 F A X 026-234-2369 電子メール shogai-shien@pref.nagano.lg.jp	
団 体 の 概 要	設立年月日 (注1)	令和○年○月○日	構成員数 ○○人
	(活動目的) ろう者とりょう者以外の方々の手話を通じた交流を図ることにより、ろう者と ろう者以外の方々が共生することのできる地域社会の実現を目指す。		
活 動 内 容	事 業 内 容		決 算 額
	(前年度における主な活動内容を記載してください。) ・交流イベントへの補助 集まろう若者たち～手話でしゃべり場～ 手話を使って「やしょうま」を作ろう! など		70 千円
前年度 の実績			

内容確認等の連絡をさ
せていただく場合があ
ります。

(注1) 特定非営利活動法人にあっては、設立の登記をした日を記載してください。

※ 団体の概要がわかる資料がありましたら、参考として添付してください。

2 事業計画（記入例）

補助事業の名称	(分かりやすく簡潔に書いてください) 地域の防災について確認してみよう。	
事業の目的	ろう者とろう者以外の者が、地域の防災について確認し、災害時、助け合える関係作りを構築する。	
事業内容・実施方法（事業の特徴が明確になるよう、簡潔に記載してください）		
<p><記載例></p> <p>午前 10:00～ 公民館に集合 10:10～ 主催者の話 10:30～ 防災マップの確認 ・1グループ5名（ろう者とろう者以外の者で構成） ・意見交換</p>		
スケジュール等（予定日、予定場所、参集範囲等）		
予定日	予定場所（市町村名）	参集範囲（①参集地域、②一般参加者への周知方法、③人数）
令和〇年〇月〇日	〇〇村	①全県 ②定例発行お便りに掲載 等 ③15人
手話による交流について		
内容	習得して欲しい手話	
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に使える手話 ・ろう者に対して緊急事態をどのように伝えるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険 ・逃げて 等 	
事業実施により期待される効果		
手話の普及 ろう者の社会参加促進 等		

※ 各欄に記載しきれない場合は、適宜作成してください。（複数ページにわたっても可）
 事業の概要がわかる参考資料がありましたら添付してください。

3 収支予算書（記入例）

総事業費 (A)	200,000 円	
補助対象経費 (B)	100,000 円	
補助金要望額 (C)	70,000 円	
科 目	金 額 (円)	積 算 内 訳
収入見込		
補助金 (C)	70,000	手話を通じたささえあい活動への助成事業
自己資金	50,000	
その他	〇〇〇	参加費 〇円×〇人 等
合計(A)	200,000	
支出見込		
報 償 費	〇〇〇	意思疎通支援者謝金 〇円×1人×〇人
旅費交通費	〇〇〇	意思疎通支援者 〇円×1人×〇人 活動スタッフ 〇円×1人×〇人
需 用 費 (食糧費は除く)	〇〇〇	
印刷製本費	〇〇〇	チラシ印刷 〇円×100枚 講演会資料印刷 〇円 50部 コピー代 〇円×200枚
消耗品費	〇〇〇	印刷用紙代 〇円×1,000枚 文房具 (のり 筆記具) 〇円
その他		
役 務 費 (通信運搬費等)	〇〇〇	チラシ郵送代 〇円×100枚 道具運搬料 〇円×2台
使用料及び 賃 借 料	〇〇〇	〇〇センター使用料 〇円×2回 道具使用料 〇円×2台
小 計(B)	100,000	
対象外経費	100,000	(上記以外の経費)
合計(A)	200,000	

補助金以外の収入の見込みを記入します。

※助成金を申請する事業に係る収支予算だけを、科目等) 記載してください。

○科目ごとに、補助対象経費の金額を記入します。

○「積算内訳」欄には、算出の根拠を詳しく記載します。